

# ちょっと薬に立つお話

## 今月のTOPICS

もうすぐ花粉症の季節!

### 点鼻薬の正しい使い方

陽射しに少しずつ春の兆しを感じられるようになってきました。芽吹きは待ち遠しい一方、花粉症をお持ちの方にはつらい季節です。花粉症の治療薬としてよく処方される「点鼻薬」について、正しい使い方を薬剤師の城下俊毅さんに聞きました。



#### ◆医療用点鼻薬の種類

医療用の点鼻薬は大きく分けて、「アレルギーや鼻の粘膜の炎症を抑えることで症状を改善する薬」と、「鼻づまりそのものを一時的に改善する薬」に分類されます。



#### ◎「アレルギーや鼻の粘膜の炎症を抑えることで症状を改善する薬」

アレルギー反応を抑える薬は、鼻炎の原因となっている症状を改善し、アレルギーの起こりにくい状態にします。粘膜の炎症を抑える薬は、粘膜にとどまって効果を表します。現在使用されている成分の多くは、粘膜からの吸収による全身への影響が少ないので、継続して使うことで粘膜を正常な状態に戻すことができます。

#### ◎「鼻づまりそのものを一時的に改善する薬」

鼻粘膜の血管を収縮させる(細くする)ことによって一時的に鼻の通りをよくします。治療用のほかの点鼻薬が鼻づまりで届きにくい場合などにも使用します。

即効性がありますが、使い続けるとリバウンドが起こり、効かなくなったり、かえって粘膜が腫れるなど副作用があります(点鼻薬性鼻炎)。治療期間を守って使用することが重要です。

#### ◆医療用点鼻薬の使い方

医療用の点鼻薬には◎液体噴霧型◎粉末噴霧型◎液体滴下型があります。一般に処方されることの多い「液体噴霧型」について、使用法の注意点を見てみましょう。

・鼻をかんでから使う … 鼻水が多かったり鼻がつまりすぎたりしていると、薬がうまく届かない場合があるので、鼻をかんでから使用しましょう。ただし、出血などの症状がある場合はかみすぎないように注意します。

・使用前に1回の噴霧回数、事前準備事項を確認 … 薬によっては使用前にもよく振ってから使うものがあります。噴霧回数も、年齢や症状によって変わることがあるので確認してから使いましょう。

・初めて使うときは「予備噴霧」する … 治療に必要な霧の量にするため、事前に薬が霧状に噴霧されることを確認します。

使用方法

通常、頭をうつむき加減にし、容器を垂直に立てて鼻の穴に容器の先端を入れ、噴霧します。



・使用後は清潔に … 容器の先端とキャップの内側をよく拭き、キャップをしっかり閉めて保管しましょう。

・使用期限、用量、用法を守る … 使用期限を守るのはもちろん、大人用のものを子供に使用するなど、処方された本人以外の使用は絶対にやめましょう。

#### ⚠️ 一般用医薬品点鼻薬の使いすぎに注意!

市販の一般用医薬品は、多くが「鼻づまりを一時的に改善する薬」が含まれており便利ですが、使い過ぎは禁物。点鼻薬性鼻炎を引き起こします。症状が長期間にわたる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



上田薬剤師会の会員薬局では、薬の使用方法などについて、患者さん1人1人でいねいにご指導いたします。ご不明な点は、かかりつけ薬局におたずねください。

## アレルギーに気をつけよう!

～薬剤アレルギーのおはなし～

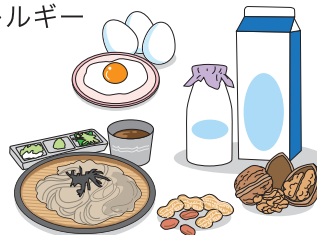
薬は病気の治療に重要な働きをするものですが、まれにその薬が体に合わないとき、薬が原因となって発疹や発熱・炎症などを起こすことがあります。この「薬剤アレルギー」について、薬剤師の小林敏伸さんに教えてもらいました。



### ■アレルギーを引き起こす原因はどんなもの?

アレルギーは、体質によって身の回りのさまざまな物質に対して起こります。よく知られているのは、花粉症を引き起こすスギ。食物では、卵、乳製品、小麦、エビ、カニ、蕎麦、魚類、そのほかクルミやピーナッツといったナッツ類など、さまざまなものでアレルギーは起こります。

広い意味では、湿布などの貼り薬や水虫の薬によるかぶれ、化粧品や洗顔料、毛染めによる皮膚炎もアレルギー反応によるものです。一般用医薬品、医療用医薬品によってもアレルギーが起こることがあります。



### ■薬のアレルギーはどんな症状になるのですか?

特徴的なのは「薬疹」という皮膚症状で、多くはその薬を使ってから10～30分くらいで湿疹が出ます。しかし薬によっては数日後に出る場合もあり、気づかれにくいことがあります。

また、特に一般用医薬品の解熱鎮痛剤や風邪薬を服用した後に、高熱、のどの痛み、唇や陰部のただれ、排尿時の痛み、目の充血や周囲の赤み、腫れを感じた場合や、喘息症状などを起こした場合は要注意です。

### ■もしアレルギーが起こったら?

まずは、かかりつけ薬局に相談してください。薬局で売られている抗ヒスタミン剤の服用や軟膏の塗布で治ることもありますが、ひどい場合は医療機関を受診する必要があります。

過去には患者さんで、皮膚の炎症だけでなく呼吸困難の症状があったため、救急外来を紹介したという事例もあります。

### ■おくすり手帳を活用しましょう!

医薬品の中には、卵や乳製品、小麦などの食物が原料となっているものがあるので、アレルギーを持つ人は注意が必要です。医療機関や薬局を利用する際には、自分のアレルギーについて、医師や薬剤師にそのことを伝えてください。

「おくすり手帳」は便利です。たいてい最初の方にアレルギーや副作用の履歴を記入するページがあるので記入し、活用しましょう。

【心配なこと、わからないことは、かかりつけ薬局の薬剤師にご相談ください。】



## はい、お答えします!

Q. 「総合感冒薬」というのは「風邪薬」と同じですか?それとも別物ですか?  
(上田市常磐城 42歳 女性)

A. 「感冒」は「風邪」と同じ意味なので、「総合感冒薬」というのは「総合風邪薬」を指します。中には、何の成分がどの症状に効く、というようにわかりやすく記載されているものもありますが、一般的に「効能」の欄には「風邪の諸症状(のどの痛み、発熱、鼻水、せき、〇〇、××、・・・)の緩和」というように感冒薬も風邪薬と同じような記載がされていると思います。「総合」なので、咳や鼻水、熱などに対する成分が含まれますが、商品によって咳に対する成分が多かったり、鼻水に対する成分が多かったりと特色がありますので、ご購入の際はぜひかかりつけ薬局で風邪の症状を伝えてください。症状にあった商品を一生懸命選んでくれると思います。

このコーナーでは毎月、読者の方からの質問に薬剤師がお答えします。お薬に対する素朴な疑問、質問、なんでもお寄せください。

宛先

〒386-0012  
上田市中央6-3-41  
週刊うえだ

「はい、お答えします!」係

weeklly-ueda  
@po3.ueda.ne.jp

FAX 0268-22-6201

